

教科	科 目	単位数	学年・クラス
芸術	美術 I	2	1年1組・2組

### 1 使用教材

使用教科書	美術 1
出版社	光村図書
副教材等	-
出版社	-

### 2 学習の目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

### 3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。また、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。
② 思考・判断・表現	造形的な美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えることができ、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
出席状況・授業態度	B	B	A	授業準備や道具の扱い、授業中の様子
課題目標の達成度	A	A	B	目標に向かって自分なりに取り組めたか
学習プリント・成果物	A	A	B	学習プリントの内容や、試作品など

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

#### 4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	<p>「芸術は自由だ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリエンテーション</li> </ul> <p>「鉛筆で描く」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉛筆表現基礎</li> <li>・ 諧調と陰影</li> </ul> <p>「アクリル絵の具で描く」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な絵具</li> <li>・ アクリルガッシュ基礎</li> <li>・ 色の性質</li> <li>・ 配色のヒント</li> <li>・ 平面構成</li> </ul> <p>「文様で飾る」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作家の手法（皆川明）</li> <li>・ ゴム印制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「絵がうまくかけない」「作品の見方がわからない」などは関係なく、自分なりの感じ方、考え方を大切に自由に表現しようとしている。</li> <li>・ 鉛筆の基礎的な扱い方、線の引き方や塗り方、諧調や陰影の付け方を理解して表現できる。</li> <li>・ 力加減による明暗の表現方法を身に付ける。</li> <li>・ アクリル絵の具の成り立ちや、歴史上での表現方法の変化を理解している。</li> <li>・ 意図やイメージに合わせて、色の性質や効果を生かし表現することができる。</li> <li>・ 色の効果、平面構成の要素を理解し、画面をデザインする。</li> <li>・ 日本の文様からそれぞれの美意識や創造性などを感じ取り、現代のデザインやアニメなどにもつながっていることを理解する。</li> <li>・ ずっと使いたいと思えるデザインで印を彫る。</li> <li>・ 印を効果的に押印し、日用品を彩る。</li> </ul>
2 学期	<p>「場所との対話」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然を生かした表現</li> <li>・ ロックバランシング</li> </ul> <p>「彫刻（彫塑）の技法」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粘土による表現</li> <li>・ 用と美</li> <li>・ 立体的なデザイン</li> <li>・ モデリング</li> <li>・ カービング</li> <li>・ 着色、仕上げ</li> <li>・ 作品展示、鑑賞</li> </ul> <p>「組み合わせる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルチンボルトと国芳</li> <li>・ 判じ絵</li> <li>・ デジタル判じ絵</li> <li>・ 印刷と製本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロックバランシングの基本的な表現方法について理解する。</li> <li>・ 豊かな自然を生かした作品を制作する。</li> <li>・ 防災とアートの関わりについて鑑賞する。</li> <li>・ モデリングとカービングの違いを理解する。</li> <li>・ 工芸作品における用と美について理解する。</li> <li>・ 自室に飾ることを想定し、実用性とデザイン性を両立した作品を制作する。</li> <li>・ 積極的に造形活動に取り組み、形になったものを造形的な視点で観察し、より良い表現になるよう追及する。</li> <li>・ アルチンボルトと歌川国芳の作品を比較しながら鑑賞する。</li> <li>・ 判じ絵の文化的背景や国語的なおもしろさを理解する。</li> <li>・ 手描きとデジタルでの表現の違いを理解する。</li> </ul>
3 学期	<p>「自己をあらわす」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作家の手法</li> <li>・ 切り絵による自画像</li> <li>・ アートナイフの表現</li> </ul> <p>「身近なものを描く」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スケッチ</li> <li>・ 鑑賞</li> </ul> <p>一年間の振り返りとまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横尾忠則の作品を鑑賞し、人物面の幅広い表現手法について理解する。</li> <li>・ 自己をあらわす言葉や形、イメージを切り絵の手法を生かして表現する。</li> <li>・ 身の回りのものや風景を見て、感じ取った感覚をスケッチで表現する。</li> <li>・ これまでの学習を自分なりに振り返る。</li> </ul>